

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年6月28日掲載

1年1組 大西梓吏

私が苓北支援学校との交流を終えて学んだことは「チャレンジすることの大切さ」と「障がいを持っている人への関わり方」です。

一つ目の「チャレンジすることの大切さ」は、私が接した二人の友達は本当はあまり声が出せなかったり手を動かすことができないのに、頑張って色々なことにチャレンジしているからです。私は二人みたいに何事にも一生懸命ではなかったので、自分のこれまでの甘さを感じました。だから、これからは何事にも精一杯取り組んで頑張っていきたいです。

私は今まで障がいを持っている人や車いすに乗っている人を避けていました。しかし今回の交流では、車いすを押したり、ボッチャの時に使うすべり台の向きを変えたり、ボールを持つことを支えたりと、たくさんふれあうことができました。ボッチャは得点の書かれた大きな的の上にボールを投げて得点を競う競技なので、二人が高得点を取れるように考えながら活動しました。今回の交流を通して、私の中で障がいを持っている人への関わり方が変わりました。これから障がいを持たれた人に出会ったら、今まで以上に優しく接したいです。

今回の支援学校との交流でいろいろなことを学び、経験できたので良かったなと思いました。